

令和6年度 第2回技術研究会
「多様化・複雑化する都市計画手法の活用可能性について」



市街地再開発事業などの高度利用を実現する都市計画における容積率緩和について、高度利用地区に代表される「空地」や「住宅」などの「量」を評価するという従来の視点が、近年、その「質」を評価する視点を重視する方向へとシフトしてきています。

2002年には都市再生特別地区や再開発等促進区を定める地区計画などの制度が創設され、市街地再開発事業においても、ハード的な都市機能の更新にとどまらず、より積極的な付加価値の創出や社会課題への対応が求められる時代となっており、公共貢献として求められる内容がより高度化する流れにあわせて、都市計画の手法も多様化、複雑化しています。

東京都においては、独自の条例に基づく固有の制度（街区再編まちづくり制度）を活用する地区も見られ、都市開発諸制度活用方針などもアップデートされています。また、地方都市においても、床需要の問題や活性化など、それぞれの地域の課題に対応すべく、一様ではない都市計画の活用が見られます。

今回の技術研究会では、都市計画の手法や公共貢献メニューにスポットを当て、有効な地域デザイン手法について考え、皆さまの今後の取組みの一助となれば幸いです。

◇ 内 容

1. 市街地再開発事業と都市計画手法
2. 東京都における都市開発諸制度等の活用による容積評価と公共貢献
(高度利用地区、再開発等促進区、都市再生特別地区、街区再編まちづくり制度)
3. 地方都市での取組事例
4. パネルディスカッション
容積割増の今後の展望等

◇ 講 師

株式会社上野計画事務所
株式会社日本設計

都市計画部長 齊原 克彦氏
都市計画群 第2グループ 上席主管 中山 宗清氏

◇ コーディネーター

一般財団法人首都圏不燃建築公社

再開発部 次長 越渡 英雄氏
(一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 委員

日 時 : 令和6年8月27日(火) 14:00~17:00
場 所 : ビジョンセンター浜松町(住所:港区浜松町2-8-14 浜松町TSビル)
※会場が外部会場ですので、ご注意願います。(https://www.visioncenter.jp/hamamatsucho/access/)
定 員 : 50名前後(但し、定員になり次第、締切と致します。)
参 加 費 : 15,000円(会員は13,000円)(税込)
※事前振込とし、当日参加費の現金取扱いは致しません。

申込方法 : 下記①、または②の方法にてお申込み下さい。

- ① 右記申込みフォームよりお申込み下さい。【http://urca.or.jp/mailform/gijyutu03/gijyutu03entry.html】
- ② 下記申込欄にご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申込み下さい。

FAX 03-3454-3015 メール: jigyoku@urca.or.jp

※ 受講当日は、受講票(後日送付)を忘れずにお持ちいただきますよう、お願い致します。

なお、開催の7日前までに入金確認が取れない場合、受講票は無効となります。

会社名: _____ 電 話: _____

請求書送付先: (〒 _____) _____

請求書宛名: _____

会員種別【 1.個人会員(正・賛助) 2.法人会員(正・賛助) 3.一般 】

所 属・役 職 名	氏 名	連絡先メールアドレス